

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】

メールニュース

No.22-59
2022年11月 2日

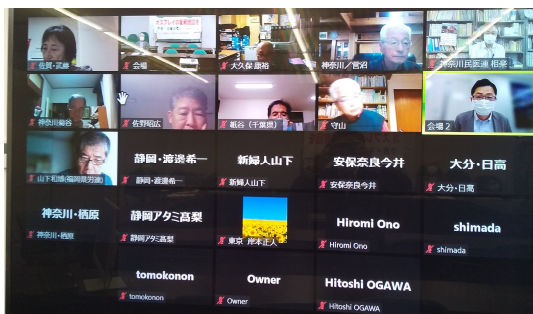
安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

日本平和大会
プレ企画

全国 学習交流のつどい

オスプレイは配備撤回を 国会請願署名を上げよう



2022 年日本平和大会のプレ企画として、「オスプレイの配備撤回を 学習交流のつどい（オンライン）」が 11 月 1 日、安保破棄中央実行委員会と日本平和委員会の呼びかけで全労連会議室をオンラインセッションに 유튜브 配信を含めて開かれました。

開会あいさつした東森英男・安保中央事務局長は、「今年だけでノルウェーや米国で死者 9 人も出す事故を起こし、飛行停止したが原因不明のまま飛行再開したことは許せない。オスプレイの配備撤回と、同時に岸田大軍拡を許さないたたかいを」と訴えました。

「オスプレイの問題点と最近の動向」

と題して菅沼幹夫・神奈川県平和委員会事務局次長が報告。「飛行停止」のきっかけになった欠陥機オスプレイのノルウェーでの事故原因である「クラッチ接合の不具合」の危険性を解明しました。日米合同委員会が 90 年までの低空飛行訓練に合意したことは、重大で訓練の常態化をさせてはならないことを強調しました。

各地からは、大久保康裕・沖縄県平和委員会事務局長、岸本正人・安保東京事務局長、紙谷敏弘・安保千葉事務局長、武藤明美・佐賀県議会議員がオスプレイの具体的な危険性や騒音被害、配備撤回の取り組みなどの状況報告をしました。討論・運動の交流では、大分、御殿場からの発言がありました。

千坂純・日本平和委員会事務局長が行動提起し、11 月 30 日国会提出の「オスプレイ配備反対」署名に取り組むことを訴え、「安保 3 文書」での岸田大軍拡に反対するために 11 月 26 日からの日本平和大会への参加を呼びかけました。山添拓・日本共産党参議院議員が 1 日の参院外交防衛委での甲府上空の空中給油機問題を報告し、国会議員あいさつしました。



米軍オスプレイが 100 機も駐機できる辺野古新基地建設は中止を

建設（一部 10 円）の活用をお願いします。

この 2 つの署名を、今開かれています臨時国会に向けて大きく広げ、11 月 30 日に国会提出します。署名は 11 月 28 日までに安保破棄中央実行委員会必着でお願いします。

辺野古新基地工事中止の署名推進のために作成した、わかりやすく解説した学習用リーフレット「いまこそ中止を！ 沖縄・辺野古新米軍基地建設」（一部 10 円）の活用をお願いします。

安保破棄中央実行委員会は、辺野古新基地工事を中止、普天間基地撤去」とオスプレイ配備撤回」の 2 つの国会請願署名を呼びかけています。

辺野古新基地工事を中止、普天間基地撤去」署名は、9 月 11 日に行なわれた沖縄県知事選挙で、辺野古新基地中止を掲げた玉城デニー知事の勝利を力にして、辺野古新基地中止・普天間基地撤去を迫るものです。

欠陥機オスプレイの墜落事故などが日本でも起きています。配備撤回の署名も緊急に求められています。

署名

辺野古新基地中止」
オスプレイ配備撤回」
11 月 28 日必着、30 日国会提出

「F15 戦闘機が退役といっても…」 嘉手納基地周辺の住民、新たな被害を懸念 F22 巡回配備案で（沖縄タイムス 10/30 付）

米空軍が沖縄県の嘉手納基地の F15 戦闘機を退役させ、F22 ステルス戦闘機を巡回配備させる可能性が浮上した。激しい騒音が問題になっている F22。基地周辺の住民からは「新たな負担につながるのでは」「基地が永久に使われてしまう」と不安の声が相次いだ。（中略）

早朝や夜間も激しい騒音にさらされる生活。基地運用が米軍の裁量で決まることに「米軍側で計画が決まっているのであれば、地元が反対できるのか。新たな基地被害は生まれてほしくない」と願った。（後略）

安保破棄中央実行委員会の 11 月度常任幹事会（オンライン兼）

11 月 9 日（水）午後 3 時～平和と労働センター（全労連会館）8F 民医連会議室